

した。次の日島根の名湯！33度のめずらしいお湯に1時間浸るという千原温泉に連れて行ってもらいました。じつとしてゆつくり温泉に浸かっていますと、隣の男湯に入っている河栄さんと佐伯さんの様子も聞こえてきました。河栄さんが佐伯さんを溺れないように腕枕で支えお湯に浸かりリラックスしたのか？佐伯さん！いびきが漏れ聞こえ！こちらの温泉に1時間入っていると私は、足がよく動くようになり身体が楽に、時間となりバタバタと上がった様子でした。



みんなとゆつくり話しができおもしろかった。また連れて行ってください。

ピースの隙間  
筋緊張殺しの信くん  
パララッチ与太

その後出雲大社に連れて行ってもらい、出雲そばを食べさせて貰って、お参りさせてもらいました。神楽社の大しめ縄を見ていよいよ大社に参って、巨大なムクの御神木やお社は凄く大迫力でした。足立美術館にも行きました。お庭が美術品のように素晴らしく綺麗で（日本画）絵画も見応えがありよかったです。車内で

その日通信のヤブ用で与太は2階を覗いたのでございます。フリースペースの板の間に目をやりますと、敷き布団とじゅんこさん(整体)そして、爆睡してます信くんがいるのでありました。じゅんこさんはいつものノリで、「整体やっつく？」と、言われたので与太は「やっつく！」と即答したのでございませう。じゅんこさんは毎年3月4月、桜の季節ぐっちゃぐちゃになりまして、与太の

循環器系をそのゴッドハンドで、整えてくださったお方なのであります。今回も鎖骨の辺り(循環器系のツボ)を指でゴリゴリツ、(むつつちやいゝツタツ！)気持ちよくなっているう」とは、じゅんこさんのお言葉でございませう。首、肩、肩甲骨辺り、背中、腰そして身体をねじり終了なのですが、横に目をやりますと信くんが、幸せえ〜！いっぱい微笑みを浮かべ、「がーごーがーごー」気持ち良さに寝ているのであります。もう・・・なんか・・・ふわあ〜！やべえ〜！超りあ〜！つくすう〜！でございます。与太CP(脳性マヒ)の再大難点である筋緊張を、ブツ殺す勢いの画と寝息、そして信くんだけが持つ、得体の知れない「な・に・か？」を感じずにはいられない与太なのであります。いつもより「あっ！」身体のみねりが良くなった？与太でございませう。

編集をしていいる今はまだ梅雨が来ていませんが、この号が発刊される頃にはしとしと雨が降り出していると思います。編集部は雨模様にもっぱら弱く体がしんどくなつてしまいがちですが、適度な雨は農作物の育ちに大切ですね。せつかくなら楽しく梅雨を過ごしたいですね  
イラスト by 編集部 姫野



◇◇ 編集後記 ◇◇  
風：雨を連れて  
夏の陽差し風が連れて  
お盆過ぎ風を変えて  
私は置いてきぼり  
風は季節を進める  
「風に吹かれて」  
ありったけの HOW MANY (どれだけの)  
深い問いかけ 歌い継がれ  
友よ その答えは風に吹かれて  
答えは風に吹かれている  
： (by ボブデイルン)  
この頃私の中：季節が進んだ  
ふと老いを感じている…  
トキのなかで  
編集部

# ピースクラブ通信

## No.84

発行 社会福祉法人 ピースクラブ  
所在地 〒556-0014 大阪市浪速区大国一丁目十一番一号  
連絡先 TEL 06-6647-12077 FAX 06-6647-12087  
Eメール peaceclub@m01.p-c.ne.jp  
HP http://w01.p-c.ne.jp/peaceclub/

### 「開拓者魂君が行く」 パラオ編

堀悦雄

四十年前近く前の話になります。ですが、聞いてください。友達が見つけた新聞の三行広告「南洋パラオで暮らしませんか？これ、おもしろそうや！って乗った私。仕事は自分で決めると言うことで迷うこと無く「百姓！」農具や耕運機、その他必要そうな物を集めて海上コンテナで発送して出発。先ほどの広告を見つけた友人が空港まで送ってくれました。入植地はパラオ本島の中部(アルモノグイ州、以下アル村)、当時は道が無く首都コロールから5トンくらいの漁船(日本から贈られたもの、週

2回首都コロールに通う)に乗せてもらって荷物を運んだ。当初は寝るところがないのでアル村で下宿、そこから歩いて40分ほどの入植地に置いて残った廃屋を修理して一ヶ月間程で畑のそばで暮らせるようになった(電気、水道無くらんぷと小さな川に自作したダムから引いた水で)。早速、畑になりそうな場所を耕し野菜を育て始めた。果菜類は苗を育て畑に植えた。翌朝、畑に行くと驚いた！「植えた苗が無い！」畑に残っていたのは大っきなカタツムリと鶏らしき足跡。夜の間に彼らにこちそうを提供していたらしい。リターンマッチは村の人から借りた空気銃で赤色野鶏を狙い撃ち(あんまり当たらんかったけど効果はある)カタツムリは空き缶のそ

こを抜き上をジグザグに切つて苗に首輪をかぶせ防衛！それだなんだとか野菜が育つようになった。日本から持って行った種で育てた野菜は人気があつてよく売れる、が、しかし、村人は自給しているのだから売れない、首都コロールまで運ぶと売れるけれど、朝出航して夕方帰航する村の船で売りに行っては畑が出来ない。それで考えた。マイデシール州知事(村長さん)に販売を委託した。自分の食べ物は教えてもらったキャッサバ(タピオカ)の原料になる芋で木質の茎を20センチくらいに切って畑に刺すと数ヶ月でぐんぐん育ち土の中にサツマイモのような(そんなに甘くなくて私は好きだった)芋が出来て主食になった。

時には村からの帰り道にあるドリアンの大木から落ちた実をノブタより先に見つけたらお腹いっぱい食べた(パラオのドリアンはとげも無くそんなに臭く無かった)仲良しの村のおじさん(マサオフランシス)にもらったサトウバナナ(甘くておいしい、戦前日本人が名付けたらしい)ばかり食べたこともあった。バナナについては、知らないもんだから黄色くなるまで待つて収穫したらボンボンで全然おいしくなかった。後でマサオが「バナナは青い内に採るんだよ」て。パイヤもよく食べた、完熟はフルーツのように、未熟は野菜として汁の具や漬物、炒め物で活躍した。パイナップルは痩せ地でも育つと思つて傾斜地に植えたけれど、毎日



のように来るスコールで表土が流されるので握り拳くらいにしかならなかった。しかし、実が出来るときは成長点がポインセチアのように赤くなつて美しかった。廃船になっていたボートもらい修理して、たまには海に行つて釣りやダイビングをして食料確保をした。小魚や貝を採つておかず。家の前を流れる川でながし針をしたこともあった。かなり太いテグスで仕掛けた針が引きちぎられて、「大物が居る！」なんとかそいつを食べたいと

思い、今度はワイヤーで流し針。それもまた引きちぎられ、まだ見ぬモンスターの正体が見たく、深夜に小さな懐中電灯で見に行ったけれどヤツには会えず、そして翌朝、畑に行くと道すがら、その川を何気なく見た瞬間、足が凍った！つま先から頭のとっぺんへ鳥肌がかけあがる！「なんと、体長3メートルくらいワニが流れに乗って川を下っていきところだった。後日、村人から「数年前にワニに食べられた人が居たよ」と聞いた。(もうちょっとで「開拓者魂君は逝く！」に成るとこだったヤバツ！)」

アル村はパラオ本島の西側中央部で2キロ程沖にあるリーフで島全体が大波から守られているのだが、村の正面に西の水道があつてそこだけにはリーフが切れていて「戦艦武蔵が来たことがあつた」とマサオから聞いた。そして、戦争の時代に据えられた大砲が村から入植地に向かう道の脇の高台に残っていた。そ

の大砲の銘盤に「明治35年呉海軍省」とあつた(日露戦争の残り物か)。また、軽自動車くらいの大きさの戦車の残骸(こんな小さいので闘つていたの?)や日の丸の付いた飛行機の翼が落ちていた。

この開拓の顛末は入植一年半ほどで悲しい結果を迎えた。野菜の販売を委託したマイदेशील村長さん、決して悪い人では無いのだけれど、南の島のテーゲーな性格で野菜の売り上げ金が回収できなくて(どこに行くのか彼はいつもお金を持つていない)気がつくと日本に帰る飛行機代も無くなつてしまひ、耕運機やボート、その他お金に成るモノを現金と引き換えに売り払い、身ひとつでかろうじて日本まで帰り着いた。

大阪空港に着いた時、長い夢からやつと醒めたような気持ちになつたのを遠い記憶の中に覚えてい

開拓者魂君こと堀悦雄

2024/05/22

☆武内信裕さんの「進化」について☆  
ホンソン(金洪仙)

信君(と呼ばせてもらいます)との付き合いが一年以上過ぎました。どういう関りができるか、当初はいろいろ考えたのですが、思い付きて提案したことを信君が受け入れてくれました。昨年3月頃はタブレットで好きな京阪電車の動画を見るだけでしたが、暫くしてからネットで探した「迷路」を印刷して、「やつてみる？」と声掛けしたら、やる気になつてくれました。やり方を伝えると真面目に取り組んで、その後も毎日「迷路」をするようになりました。少しずつ「難しい」「迷路」に進んでいる迷路の達人、信君です。慣れてくると、タブレットをしながら迷路をするという余裕を見せています。昨年6月頃からはルームランナーでウォーキングも始めました。ただ歩

いているだけの時は5分くらいで「やめる」というのですが、ある日、姫野さんが「電車の動画を見ながら歩いたら？」と助言してくれたのを機に、タブレットで電車の動画を見ながら歩くようになりました。それからは歩行時間がドンドン伸びて、約年間続けた結果、歩行時間99分の記録も打ち立てました。

そして作業・活動以上に目を見張る変化は、意思表示が確固としてきたことです。嫌なことは「イヤ」と伝えてくれます。そういう信君の意思表示を私は尊重したいと思つています。

ある日、二階で掃除・片付けが大好き勝博君が信君の飲みかけのお茶を片付けようとしたときも、ウォーキングしながら手を振って「持つて行かないで！」の意思表示。信君は水分補給も自分で考えて、よくやっていますよ。

反応渋めの毅さん

上村将章

4月18日に毅さん、五郎ちゃん、瓶ちゃん、郁ちゃん、敬ちゃん、僕の6人で、姫路城崎方面に1泊旅行をしました。毅さんとは、コロナ禍もあつて、約6年ぶりの旅行になりました。毅さんとは、4、5回旅行に行きましたが、毅さんには今までなかなか満足してもらえずにいます。そもそも僕は、時間割りが綿密



で、慎重派で、ハプニングが大の苦手。対する毅さんは、人が困つたり、慌てたり、パニックる姿を見て笑つてる印象があります。今回は毅さんの希望の姫路セントラルパークを初日に行きました。

遊園地、レストラン、車でのサファリ巡り、普通過ぎて楽しんでない様子。次に事前に敬ちゃんが調べてくれたいた動物のエサやりに向かいました。

急な坂道をウネウネ約10分かけて下りて行きました。着いたらホワイトタイガーが居て、餌やり体験をすること

僕には相応びびつてました。手にもヨダレをかけられ、その様子を見て毅さんはハイテンションでした。

次にキリンのエサやり、キリンの舌が20センチほど伸びてきて、毅さんの指をねぶりながら、人参を口を持っていきました。さすがの毅さんとも僕には良かったと思ひました。その他、池から妖怪が出てくるのも爆笑してくれました。

晩は、ログハウスのレストランでいろんなおかずを食べて、ビールも飲んで、お風呂にも入りました。

僕的には百点満点の初日でした。2日目の城崎マリンワールドも期待を胸に向かいました。トドのダイビング、ブリのフイッシュダンス、アシカ・イルカショーと他にはない斬新なものでしたが、毅さんの反応は敢えなく撃沈でした。

前日の姫路セントラルパークを踏まえると、ふれあい等の体験型を取り込まないといけないなあと思いました。

昼食には、唐揚げハンバーグを取り入れたものの、50点ぐらいの出来だったと思ひます。でも、総合的には、良かったかなあと。五郎ちゃんも、よくおしゃべりしてくれて場を盛り上げてくれました。

敬ちゃんも献身的に介助してくれました。瓶ちゃん郁ちゃんも子供の様に楽しんでくれました。良い思い出になりました。

この場を借りて、スタッフや関係者の方々に感謝を。以前は恒例でした年一回の旅行を是非ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

思い出ごはん

〜おじいちゃん家で焼き肉〜  
大下紗幸

私にとって思い出ごはんってなんだろう？って考えた…。一番に出てきたのが、おじいちゃん家で焼き肉でした。おばあちゃんが車椅子生活になり、スーパードのお惣菜が多かったおじいちゃん家のごは

ん。

たまにおじいちゃんも料理しました。そんな中で私の思い出が強いのは焼き肉でした。高校生ぐらいの頃実家の近くに、引越してきたおじいちゃん家族、実家でイヤなことがあったりすると、よくおじいちゃん家に行っていました。私が行くたびに毎回ではないけど、お家焼き肉ってことが多く、

いつもイジってくるついに(叔父キ)に「お前狙つて来るのか!？」と振られ、私は「そんなわけないやん!」と返し、いつものこと笑い合つたことが忘れられません

実家で食べられないほどの良いお肉!倍ぐらい美味しかったのを覚えています。(家族には内緒)

いつも突然行って、いやな顔せず、何も聞かず、ただ「食べるか?」と、言ってくれていたおじいちゃん。いつも冗談言つてイジって笑かせてくれたついに(叔父キ)。ありがとう。

ピースで行った島根旅行(出雲) 阪本照代



この度久しぶりにピースから旅行に連れて行ってもらう島根(出雲)に行きました。お宿の近くにはいろんな温泉(外湯)があり、ぬるめのお湯でしつかり温まりました。そして夕食は近くのジנגスカンのお店で(河栄さん曰く値段が高ア!)美味しく頂き、宿に帰り今日の楽しかったことをみんなと話し飲み会もしま